

腎臓内科



診療部長（地域医療担当）
診療科長（腎臓内科）
瀬田 公一

専門医資格等

日本腎臓学会専門医・指導医
日本透析医学会
専門医・指導医
日本高血圧学会
専門医・指導医
日本内科学会認定内科医・
総合内科専門医・
JMECC インストラクター

日本集中治療医学会専門医
日本救急医学会
ICLS インストラクター
ICD 制度協議会
認定インфекション
コントロールドクター

京都大学博士（医学）
京都大学医学部臨床教授
奈良県立医科大学非常勤講師
日本内科学会近畿支部評議員
京都透析医会会長

| スタッフ |

	氏 名	専門医資格等	専門分野
医師 教育研修 副部長	小泉 三輝	日本腎臓学会専門医・指導医 日本透析医学会専門医・指導医 日本集中治療医学会専門医 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・JMECC インストラクター 日本急性血液浄化学会認定指導者	腎臓内科
医 師	高折 光司	日本腎臓学会専門医・指導医・評議員 日本透析医学会専門医・指導医 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医 日本プライマリ・ケア連合学会プライマリ・ケア認定医・指導医 京都大学博士（医学）	腎臓内科
医 師	大野 祥子		腎臓内科
医 師	平井 大輔	日本内科学会認定内科医	腎臓内科
専 攻 医	石田 万菜		腎臓内科
専 攻 医	小阪 健祥		腎臓内科
医 師	泉谷 梓	日本内科学会認定内科医 日本腎臓学会専門医	腎臓内科

| 令和5年度の主な取組 |

施設認定

- ・日本腎臓学会研修施設
- ・日本透析医学会認定施設
- ・日本急性血液浄化学会認定指定施設

クリティカルパスは3つ活用している。

- ・CKD 教育入院パス 7日間
- ・腎生検パス 7日間
- ・トルバプタン導入入院パス 2日間

診療実績

入院患者数

	2023年度
入院患者数/日(名)	8.6
平均在院日数(日)	9.1
外来患者数/日(名)	22.5
初診患者数/月(名)	16.2
紹介患者数(地域連携)(名)	248

腎生検診断一覧(2023年度)

IgA腎症	16例	糖尿病性腎症	2例
腎硬化症	13例	アミロイドーシス	1例
膜性腎症	2例	MPGN	1例
微小変化型ネフローゼ	8例	FSGS	1例
半月体形成性腎炎	9例	溶連菌感染後AGN	1例
間質性腎炎	2例		

腎生検診断一覧(2023年度)

在宅透析患者数(名)	3
血液透析導入患者数(名)	55
腹膜透析導入患者数(名)	3
腹膜透析/うちハイブリッド患者数(名)	21/5

教育・啓発活動

- ・伏見CKD医療連携の会(ハイブリッド開催 伏見医師会館)

第26回 2023年10月28日(土)

「免疫チェックポイント阻害薬使用中の腎機能悪化について腎臓内科医が考えること」

京都医療センター 腎臓内科 平井 大輔

「エビデンスに基づく CKD 診療ガイドライン 2023 改訂ポイント

～高血圧・糖尿病性腎臓病の改訂を中心に～」

京都大学大学院医学研究科 腎臓内科学 講師 横井 秀基先生

学術活動報告(学会・研究発表など)

発表年月日	発表学会
演題名 等 / 演者(下線は当院所属)	
2023.06.09	第66回日本腎臓学会学術総会
「当院での Conservative Kidney Management(CKM) の経験」	
平井 大輔、小阪 健祥、泉谷 梓、高折 光司、小泉 三輝、瀬田 公一	
2023.10.07	第55回日本腎臓学会西部学術大会
「デュルバルマブにて肉芽腫性間質性腎炎を認めた一例」	
平井 大輔、小阪 健祥、石田 万菜、泉谷 梓、大野 祥子、高折 光司、小泉 三輝、瀬田 公一	
2023.10.08	第55回日本腎臓学会西部学術大会
「タクロリムスによる血栓性微小血管症に強皮症腎クリーゼが合併していたと考えられた一例」	
小阪 健祥、平井 大輔、石田 万菜、泉谷 梓、大野 祥子、高折 光司、小泉 三輝、瀬田 公一	

| 投稿論文など |

論文種類 / タイトル / 著書・雑誌名, 巻, 号, ページ, 発行年月, 出版社
著者 (下線は当院所属)

【総説】

ヘモフィルターについてのPros & Cons : Con : 予後を改善しない

INTENSIVIST, 15, 3, 485-490, 2023.07.01, メディカル・サイエンス・インターナショナル

小泉 三輝

【図説】

他科疾患の治療 第12回慢性腎臓病 慢性腎臓病ってこんな病気です

消化器ナーシング, 29, 4, 92-93, 2024.03, MC メディカ出版

小泉 三輝